

2日公開の平成23年分の国會議員所得報告で、テレビ番組などへの出演料を記載した民主党議員は47人となり、政権交代前の20年分の33人を大きく上回った。自民党は20年分の43人から25人、公明党は15人から5人に激減し、メディアへの露出でも“政権交代”が顕著になった格好だ。

報告書に「出演料」「放送謝金」と記したのは全議員の13%に当たる計96人。

民主党の長島昭久首相補佐官は「野党時代は自分の責任で自由に発言できたが、すっかり難しくなった」。一方、ある自民党議員は「野党になつてメディアに出る回数が減つたベテランが最近、テレビ放映される国会質問にやたらと立ちたがるようになつた」と打ち明ける。

“政権交代”くつきり